



TOCO-TON 指導主事

A group of students and a teacher are seated around a large, polished wooden table in a classroom. The students, some in school uniforms and others in casual wear, are looking towards the center of the table. Several papers, including a large sheet with a colorful drawing, are spread out on the table. A small globe is also visible. In the background, a wooden door and a bulletin board with various notices are visible.

生徒のよさや課題と感じていること等を出し合い、よさを伸ばし課題を解決するために、夢物語（こんなことできるのかなと思うこと）でもよいので、目指す学校や生徒の



明北小職員 12 月 17 日



明南小職員 12月9日

12/17 (水) もうすぐ冬至ミーティング"

子どもたちの姿 (ニコ) (ハッピー) 明るさ

- ・あれやりたい! かっこいい人出てきた。
- ・「どうせダメ」という気持ちもなくなってきた。
- ・子どもの声が多々。(笑) (今までの学校じゃ)
- ・子どもが楽しそう。達成感。←
- ・失敗。まちがいを「いいや」と思える。直る。
- ・学年ごとに姿が多々。(たてわり以外も)
- ・たてわりが多々で、積極的に高が低をみている。
- ・自分たちで決める良さ。
- ・よく考える子ども達。
- ・子ども達がつくる良さ。

自由さがある (教師主導のなかで)

課題

- ・もう少し先生や保護者も入ってほしい (5年児童)
- ・全体も見てない...
- もう少し全校で集まってもいいかも
- ・11月が忙しくて、あまり良くなかった。
- ↓
- 年間予定を組む時に大変だったとずらす。へらす。

先生たちの企画もあるとおもしろい!

「たてわり」をしたらうまくなる?

先生たちも「うまくなる」と思うこと (しなやか)

- ・たてわりを増やして委員会、全校音楽でチャレンジしたりする機会もあつた ⇒ 姿につながる
- ・休み時間、誰と遊ぶ。
- ・先生たちの出番 ↓ 子どもたちの出番 ↑
- ・子どもの「やりたい」を引き出して、うろたえていた! 気持ちのより、細いと言わない。
- ・「やろう」と言える雰囲気作りをしている。子どもたちが否定的なことを言わない。前向きな言葉を増やす。

3 明南小1年生活科『明科南認定こども園からの招待で交流会』12月15日(月)

11月に、明南小1年生が、南園の年長さんを小学校に招待して交流会が行われました。「自分たちもおまつりをして、1年生に来てもらいたい!」と願った年長さんは、園でのおまつりを計画し、1年生を招待してくれました。1年担任が、そのことを子どもたちに伝え、と、「行く〜!!」と即答。1年生が南園に行つての交流が実現しました。



挨拶と体操をした後、最初に、園庭で思い思いに遊びました。3歳児以上の園児みんなと、雲てい・おままごと・ドッジボール等々、自分がやりたいことを楽しみました。昨年度まで園児だった1年生は、遊び方や約束も分かっていて、久しぶりの遊び場で気持ちもワクワク、園児と一緒に思う存分楽しんでいました。お兄さん、お姉さんらしく気遣う姿もありました。

次は、年長さんと1年生との交流です。遊戯室に入り、ジャンケン列車を楽しみました。列車が全部つながった後「あわてんぼうのサンタクロース」や、1年生が卒園式で歌った「こころのねっこ」などを一緒に歌いました。



次は、いよいよ年長さんが準備してくれた『おまつり』の場です。1年生は「おすもう」と「わなげ」のチケットを受け取り、楽しんだあとは、素敵な手作り景品をもらいました。「わなげ」と、景品の「たこやき」は、1年生が企画した交流会にもありました。楽しかったり、嬉しかったりした体験が、年長さんの考えるおまつりにもつながっていることを感じました。



最後、1年生が年長さんに、ストローや紙コップで使ったおもちゃをプレゼントして、一緒に楽しみました。子どもの感想にもありましたが「また行きたいな。また来てね。」と、次につながる交流会になりました。